

令和 2 年度

一般入試学生募集要項



鹿屋体育大学

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
公式ホームページ <https://www.nifs-k.ac.jp/>

目 次

1	学部、課程及び募集人員	1
2	出願資格	2
3	選抜日程	2
4	選抜方法	2
5	大学入試センター試験及び実技検査の配点等	6
6	出願書類等の提出先及び照会先	6
7	出願方法	7
8	出願期間	8
9	受験票等の送付	8
10	試験場	8
11	合格者の発表	8
12	留意事項	9
13	入学手続・入学料等	9
14	入学手続についての留意事項	10
15	追加合格等	10
16	障害のある者等の事前相談	10
17	その他	10
	◆問い合わせ先	10
	◆入試情報の提供	11
	◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法	11
	◆本学までの主な交通経路	12
	◆鹿屋体育大学位置図	13
	◆受験の際の宿泊施設について	13
	◆タブレット必携化について	13
	◆入学検定料の払込取扱票等の記入方法	14

【出願書類等】

- ① 入学願書
- ② 指定調書
- ③ 受験票・写真票，実技検査票（A）・実技検査票（B）
- ④ 志願者あて名シール
- ⑤ 払込取扱票
- ⑥ 【入学検定料振替払込受付証明書（お客さま用）】貼付用台紙
- ⑦ 入学試験関係書類在中封筒（黄色）
- ⑧ 出願用封筒（薄緑色）

【選抜日程等】

出 願 期 間	令和2年1月27日（月）～2月5日（水）
選 抜 日 程	令和2年2月25日（火）・2月26日（水）
合 格 者 発 表 日	令和2年3月6日（金）
入 学 手 続 期 間	令和2年3月9日（月）～3月15日（日）

令和2年度 鹿屋体育大学一般入試学生募集要項

鹿屋体育大学の使命・教育理念

1981年に開学した国立大学唯一の体育系単科大学である鹿屋体育大学は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりの分野において実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー・指導者を養成することを使命とし、本学の教育課程を核に、社会人としての豊かな教養の涵養や将来を展望し、勤労観・職業観を醸成しつつも、体育学に関してあらゆる専門性の深化と充実を目指します。

アドミッション・ポリシー（AP）求める学生像

- ①体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生
- ②自己表現ができる学生
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- ③新たな課題に挑む意欲のある学生
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

入学試験の基本方針

- ・入学後の教育に十分に対応し自らの趣向性にあうように、文系・理系に特に偏ることなく、さらにこれからのグローバル化した社会に対応するために外国語の基礎学力を備えているかを判断するために、大学入学者選抜大学入試センター試験において本学が指定する教科・科目の成績により判断します。
- ・スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおけるリーダーシップやマナー、コミュニケーション能力、および知識や経験に基づく思考・判断・表現力などについて面接により判断します。
- ・スポーツ・武道に関する基礎的な実技力またはあらゆるスポーツに関する基礎的な身体資質の特性を課程別に指定した実技検査により判断します。

1 学部、課程及び募集人員

学 部	課 程	募集人員
体 育 学 部	ス ポ ー ツ 総 合 課 程	60人
	武 道 課 程	25人
合 計		85人

（注）分離分割方式の前期日程のみで募集を行います。

スポーツ総合課程

トップレベルのアスリートの育成や科学的サポート、ジュニア期からの一貫指導、生涯にわたるスポーツ・健康づくりのコーディネートなどに関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、自身の進路選択に合わせて講義や実技を履修することができます。

武道課程

武道に関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、武道に関する講義や実技（柔道、剣道）を必ず履修することになります。

上記のことを参考に課程を選択してください。

2 出願資格

一般入試に出願できる者は、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）の教科・科目の中から本学が指定する3教科・3科目（3頁を参照）を受験した者でなければなりません。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は、次のとおりです。

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

（注）上記カにより出願する場合は、事前に審査を行います。出願に先立ち、令和2年1月21日（火）までに、あらかじめ本学教務課入試係へお問い合わせください。

3 選抜日程

令和2年2月25日（火）・2月26日（水）

課程名	試験日時	2月25日（火）	2月26日（水）
		9：00～17：00	8：30～17：00
スポーツ総合課程	面接	健康診断	実技検査
武道課程			

4 選抜方法

一般入試は、大学入試センター試験並びに本学が行う試験（面接、実技検査）の成績、調査書、指定調査の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

合否判定の基本方針

- ① 大学入試センター試験及び実技検査の合計得点の高い者から合格とします。
なお、同得点の者が複数の場合には、面接、調査書審査の結果の順に判断します。
- ② 次の事項に該当する者については、不合格とします。
 - ア 実技検査の結果が30点未満の者（武道課程のみ）
 - イ 面接の結果が「1」の者
 - ウ 健康診断の結果、修学に耐えられないと判断された者

(1) 大学入試センター試験

国語又は数学から1教科・1科目，地理歴史若しくは公民又は理科から1教科・1科目，外国語から1科目の合計3教科・3科目を受験していることが条件です。

教科	グループ	科目	教科科目の選択の方法
国語		『国語』	左記の2教科・7科目のうちから1教科・1科目を受験していること。
数学	①	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	
	②	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』『情報関係基礎』	
地理歴史		「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	
公民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」 『倫理，政治・経済』	左記の3教科・18科目のうちから1教科・1科目を受験していること。 ただし、「基礎を付した科目」については、2科目を受験していること。
理科	①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	
	②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	
外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	

(注)

- ア 平成31年度以前の大学入試センター試験成績（平成31年1月以前に実施されたもの）の利用は行いません。
- イ 本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目については，出願時に受験したすべての科目を申告してください。
- なお，本学が指定する教科・科目数を超えて受験した場合は，高得点となる3教科・3科目を合否判定に用います。ただし，地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を受験した場合には，第1解答科目の得点を用います。
- ウ 本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は，出願無資格者となります。

(2) 本学が行う面接及び実技検査

① 面接

本学の教育を受けるにふさわしい適性をみるため，複数の面接員による5分程度の個人面接を行います。

【採点・評価基準】

学習意欲，競技意欲について質問し，積極性，計画性，独創性の観点から5段階で評価します。また，それらの回答全体から品格，マナー，課題解決力についても5段階で評価します。

② 実技検査

以下のとおり課程別に指定した各種目検査又は運動能力検査（スポーツ総合課程のみ）で実施します。各種目検査では，受験者の基礎的な運動技能の評価を行い，運動能力検査では，受験者の基礎的な身体資質を測定します。

なお，実技検査の配点は，スポーツ総合課程は300点満点，武道課程は100点満点で評価します。

○スポーツ総合課程

次表の種目から1種目又は運動能力検査のどちらかを選択してください。

種 目	検 査 内 容	評 価 の 観 点
陸 上 競 技	次の種目のうちから1種目を選択し、その選択した種目について、実施します。 (男子) 100m, 400m, 800m, 3000m, 110mH, 走高跳, 走幅跳, 三段跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハンマー投 (女子) 100m, 400m, 800m, 3000m, 100mH, 走高跳, 走幅跳, 三段跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハンマー投	ア 検査種目の記録 イ 技術
器 械 運 動	次の種目のうちから選択した2種目の基本技術について実施します。 (男子) マット, 跳び箱, 鉄棒 (女子) マット, 跳び箱, 平均台	ア 技の正確さ, 大きさ イ 技の調整力, リズム
水 泳	次の競泳種目のうちから選択し、その選択した競泳種目の希望する距離について実施します。 自由形 (50m, 100m, 200m) 平泳ぎ (50m, 100m, 200m) 背泳ぎ (50m, 100m, 200m) バタフライ (50m, 100m, 200m) 個人メドレー (200m)	ア 泳力 イ 泳法
バスケットボール	次の各項目について実施します。 体力測定, シュート, 1対1の攻防, 5対5の攻防	ア 体力 イ シュート力 ウ 攻防の技能 エ ゲームの組立
サッカー	基本技術 (ボールコントロール, ドリブル), 対人技術 (4対4の攻防), 身体適性能力 (シャトルラン) 及びゲームでのポジション別専門技術について実施します。	ア 体力 イ 基礎技術 ウ 戦術
テニス	次の各項目について実施します。 ゲーム (シングルス及びダブルス), 体力測定 (5方向走)	ア 基礎技術 イ 応用技術・戦術 ウ 体力
バレーボール	次の項目について実施します。 ジャンピングサーブ, トス, 3対3ゲーム, 連続ジャンプ (男子290cmの高さを30秒×3回) (女子260cmの高さを30秒×3回)	ア 体力 イ 基礎技術 ウ 戦術判断
海 洋 ス ポ ー ツ (セーリング)	次の競技のうちから一つを選択し、その選択した競技について実施します。	
	ヨット	次の各項目について実施します。 一人乗りディンギー (レーザーラジアル) の 艀装・解装, チューニング, 帆走 【悪天候時】 次の各項目について実施します。 一人乗りディンギー (レーザーラジアル) の 艀装・解装, チューニング, 体力テスト

海 洋 ス ポ ー ツ (セーリング)	ボードセーリング	次の各項目について実施します。 ボードセーリング（テクノ293クラス）のセッティング、リグ部のチューニング、セーリング	ア 体力 イ 基礎技術 ウ 資質
		【悪天候時】 次の各項目について実施します。 ボードセーリング（テクノ293クラス）のセッティング、リグ部のチューニング、体力テスト	
海 洋 ス ポ ー ツ (ローイング)	次の競技のうちから一つを選択し、その選択した競技について実施します。		
	ボート	次の項目について実施します。 1000mローイングエルゴ漕	ア 漕記録 イ 漕技術
	カヌー	次の項目について実施します。 500mカヌーエルゴ漕	

運動能力検査

検 査 内 容	自転車エルゴメータによる持久性テスト リバウンドジャンプテスト	垂直跳テスト 敏しょう性テスト
---------	------------------------------------	--------------------

なお、運動能力検査の前に、形態的特性の基本データを得るため、身長・体重の測定を行います。

○武道課程

次表の種目から1種目を選択してください。

種 目	検 査 内 容	評 価 の 観 点
柔 道	次の各項目について実施します。 受身 講道館柔道投の形（手技、腰技、足技の各技の中からそれぞれ一つずつ指定された技を実施する（左右行う）。） 立技打込・固技の基本等（連絡変化技を含む。） 試合	ア 柔道の基本動作 イ 基本的投技・固技技能 ウ 応用的投技・固技技能 エ 実践的技能・戦術
剣 道	次の各項目について実施します。 日本剣道形（太刀の形 1本目～3本目） 切り返し 試合（稽古）	ア 剣道形の作法・所作・理合 イ 切り返しの理法と習得 ウ 基本と応用の統合性・打突行動

(注) ア 出願後は実技検査種目の変更を認めません。

イ 受験する実技検査種目に適する服装・履物を必ず持参してください。ただし、文字やマークによりチーム（学校）名を特定できるユニフォーム・道衣等の着用は禁止します。

ウ 競技用シューズを用いてよいですが、体育館シューズとグラウンドシューズは、区別してください。

エ 柔道衣、剣道具等は、各自が持参してください。

オ ゼッケン（縦18cm×横25.5cmの白布に、受験番号の末尾3桁を記入したもの）を2枚作成し、ユニフォームの胸と背中にそれぞれ縫い付けておいてください。ただし、次の種目及び運動能力検査については、以下のとおりとします。

・陸上競技：ゼッケンの取扱いについては、後日送付する「実技検査（陸上競技）受験上の注意」を参照すること。

・器械運動：背中に縦10cm×横15cmのサイズのゼッケンを1枚縫い付けておく。

・運動能力検査：着衣の胸に1枚縫い付けておく。

・柔道：柔道衣の背中に1枚縫い付けておく。

なお、水泳、ヨット、ボードセーリング及び剣道を選択する受験者は、ゼッケンの用意は不要です。

カ 更衣室については、当日指示しますが、更衣後の衣服等を整理するために、袋やバッグ等を用意してください。

キ 受験に当たっては、各自事前のトレーニングをしておいてください。

ク 検査順序・検査内容及び方法に関する説明は、試験当日行います。事前の問い合わせには一切応じません。

ケ 詳細は、後日送付する「受験者心得」を参照してください。

(3) 出身学校が作成する書類（出願書類）

調査書

出身学校長により作成された調査書を審査の対象とします。

なお、①学習における特徴等、②行動の特徴、特技等、③部活動、ボランティア活動等、④取得資格、検定等を「指導上参考となる諸事項」欄に記入してください。

【評価内容】

学業成績、就学状況、部活動やボランティア活動等

(4) 本人が作成する書類（出願書類）

指定調査書

生徒会（学友会）活動、ボランティア活動及びスポーツ・文化活動等について、記載された内容に基づき審査を行います。

なお、スポーツ・武道に関する競技歴がある場合は最も評価できるものについて大会名、開催地、年月日、種目又はポジション、成績、記録等を記入してください。

【評価内容】

生徒会（学友会）活動、ボランティア活動及びスポーツ・文化活動等

(5) 健康診断

実技検査の安全を期するため及び入学後の履修における支障の有無を確認するため、受験者全員に行います。

健康診断は面接日に心音・心電図の測定及び健康調査票（当日配付）により行います。

なお、精密検査を受ける必要がある者については、試験当日、別途指示します。

5 大学入試センター試験及び実技検査の配点等

試験名 課程名	大学入試センター試験						実技検査	配点合計
	国語	数学	地理歴史	公民	理科	外国語		
スポーツ総合課程	200 ^点		200 ^点			200 ^点	300 ^点	900 ^点
武道課程	200		200			200	100	700

(注) 1 「数学」、「地理歴史」、「公民」及び「理科」は200点満点に換算します。

2 「外国語」のうち『英語』については、筆記200点及びリスニング50点の合計250点満点を200点満点に圧縮して換算します。

ただし、リスニングを免除された者は、筆記200点を満点とします。

3 武道課程受験者の実技検査評価が30点未満となった場合には、不合格となります。

6 出願書類等の提出先及び照会先

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

鹿屋体育大学教務課入試係

TEL 0994-46-4869 FAX 0994-46-2515

7 出願方法

出願書類等を一括し、本要項に添付の出願用封筒（薄緑色）を用いて必ず書留速達にて郵送してください。
直接持参しても差し支えありません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。

また、出願書類受付後は、記載内容の変更は認めません。

出願書類等	摘 要
入 学 願 書	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
前 令和2センター試験成績請求票 国公立前期日程用	大学入試センターから送付された「前 令和2センター試験成績請求票国公立前期日程用」を入学願書の所定欄に貼付してください。
指 定 調 書	本学所定の様式に所要事項を記入してください。 なお、特筆すべき諸活動等がない場合には「なし」と記入し、その場合でも、氏名（フリガナ）、性別、生年月日は必ず記入してください。
受 験 票・写 真 票	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。 写真（上半身、無帽、正面向きのもので、縦4cm×横3cm、最近3ヶ月以内に撮ったもの。カラー・白黒は問わない。写真の裏面に氏名を記入のこと。）を貼付してください。
実 技 検 査 票 (A)・(B)	受験する種目は(A)・(B)票〔受験票・写真票の裏面〕が必ず一致するように正確に記入してください。
志 願 者 あ て 名 シ ー ル	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
調 査 書 又 は 成 績 証 明 書	(1) 高等学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者は、文部科学省の定めた様式により作成された調査書 (2) 高等専門学校第3学年を修了した（見込みを含む。以下同じ。）者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものを調査書に代えます。 (3) 高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む。）は、合格成績証明書をもって調査書に代えます。ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添付してください。 (4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した（見込みを含む。以下同じ。）者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者、国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。ただし、国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者は、当該教育施設が国際的に評価団体（WASC, ACSI, CIS）から認定を受けていることが確認できる書類を提出してください。 (5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により入学資格を認定された者は、当該教育施設において作成した成績証明書又は文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものを調査書に代えます。 （注1）調査書、成績証明書等は平成31年4月以降に発行され、<u>厳封したものを提出してください。</u> （注2）<u>出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合及び廃校・被災その他の事情により、調査書（成績証明書等を含む。）</u>が得られない場合は、その旨を記した証明書や卒業証明書、成績通信簿等の提出をもって調査書に代えることができます。

入 学 検 定 料 (17,000円)	同封している払込取扱票に必要事項を記入（14頁を参照）して、<u>令和2年1月20日（月）以降に郵便局の受付窓口で払込んでください。ATMからの払込みはしないでください。</u> なお、振込手数料は、依頼人負担となります。 払込取扱票等の※欄は、志願者本人の住所・氏名・電話番号等を必ず記入してください。 入学検定料を払い込んだ後、振替払込受付証明書（お客さま用）に受付局日附印があることを確認し、本学所定の台紙に貼付して出願してください。 また、下記の場合以外は、既納の検定料はいかなる理由があっても返還しません。 ア 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合 該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続きを行ってください。 イ 検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合 ウ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は所定の金額より多く振り込んだ場合 上記イ及びウについては、本人の申し出により納入された検定料又は超過分を返還することができますので、必ず<u>令和2年2月21日（金）までに教務課入試係（電話0994-46-4869）へ連絡してください。</u> （注）出願受付後に、大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であると判明した者に対しては、検定料のうち13,000円を返還します。該当者には、結果通知の際に関係書類を送付しますので、書類作成の上、<u>令和2年2月21日（金）までに</u>手続きを行ってください。
封 筒（黄 色） [入学試験関係書類在中]	受験票及び受験者心得等を送付する際に使用しますので、本学所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、<u>郵便切手（430円）を貼付して提出してください。</u>また、封筒に記載の「<u>殿</u>」は消さないようにしてください。

8 出願期間

令和2年1月27日（月）～2月5日（水）とします。

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

ただし、土曜日、日曜日は受付を行いません。

② 郵送の場合は2月5日（水）17時15分必着とします。

（注）出願期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。

9 受験票等の送付

受験票、受験者心得及びその他の書類が、令和2年2月14日（金）までに到着しない場合は、必ず教務課入試係に電話で照会してください。

10 試験場

鹿屋体育大学

所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地 TEL 0994-46-4869

試験場については、12・13頁の位置図等を参照してください。

11 合格者の発表

令和2年3月6日（金）10時

本学事務局玄関前に合格者受験番号を掲示し発表するとともに、合格者に合格通知書及び関係書類を送付します。

本学ホームページ（<https://www.nifs-k.ac.jp/>）上で、「合格者受験番号一覧表」に掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

12 留意事項

- (1) 本学の一般入試は分離分割方式の前期日程のみで試験を実施します。
本学に出願する者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。
- (2) 他の国公立大学の推薦入試合格者は、当該大学の定める推薦入試辞退手続により、入学の辞退を許可された場合を除き、本学を受験しても入学許可は得られません。
- (3) 他の国公立大学のAO入試合格者は、当該大学の定めるAO入試の入学辞退手続により、入学を辞退した場合を除き、本学を受験しても入学許可は得られません。

13 入学手続・入学料等

一般入試合格者には、入学手続書類を送付しますので、下記(1)入学手続期間内に入学手続を完了してください。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、本学の一般入試合格者としての権利が消滅するので注意してください。

- (1) 入学手続期間 令和2年3月9日（月）～3月15日（日）とします。
 - ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。
ただし、土曜日、日曜日は受付を行いません。
 - ② 郵送の場合は3月15日（日）17時15分必着とします。
（注）入学手続期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。
 - (2) 提出書類
 - ① 本学一般入試受験票
 - ② 大学入試センター試験受験票
 - ③ 誓約書
 - ④ 保証書
 - ⑤ 写真 1枚（縦4cm×横3cm）
 - ⑥ 卒業証明書（入学手続時に提出できない者は、後日速やかに提出すること。）
 - ⑦ その他の書類等（「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。）
 - (3) 入学料等学生納付金
 - ① 入学料 282,000円（予定額）
 - ② 授業料 前期分 267,900円（ 〃 ）
年 額 535,800円（ 〃 ）

ア 入学料及び授業料については、予定額をお知らせしています。改定があった場合には、随時お知らせします。

イ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

 - ③ 諸経費（体育会費、学生教育研究災害傷害保険料、スポーツ安全保険料、同窓会会費等）
76,060円（令和元年度入学実績）
令和2年度の諸経費の詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。
- （注）ア 入学手続完了者が令和2年3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により当該授業料相当額を返還します。諸経費についても同様とします。
なお、入学料については返還しません。
- イ 入学料・授業料の納付が著しく困難な者には、入学料免除、入学料徴収猶予及び授業料免除の制度があります。
詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。
また、入学料・授業料及び諸経費の納入方法についても同様とします。
- ウ 本学では、「競技成績優秀者」及び「学業成績優秀者」として認めた者に対して授業料を免除する授業料特別免除制度を設けています。
なお、授業料特別免除の決定者には、本学より別途通知しますので、本人が手続を行う必要はありません。

14 入学手続についての留意事項

- (1) 入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。
- (2) 本学の入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）に入学手続をすることができません。
- (3) 他の国公立大学の入学手続を完了した者は、これを取り消して本学に入学手続をすることはできません。
- (4) 本学の入学手続を完了した者のうち、他大学の「後期日程」に出願した者が、これを受験しても合格者とはならないので注意してください。
- (5) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、本学一般入試の可否及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び合格者の併願先の国公立大学に送付します。
- (6) 入学手続の際には、「本学一般入試受験票」と「大学入試センター試験受験票」が必要です。紛失しないよう注意してください。
- (7) 入学手続については、合格者に対して合格発表当日に送付する「入学手続等に関する手引き」を参照してください。

15 追加合格等

- (1) 入学手続期間（令和2年3月9日（月）～3月15日（日））終了後、入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格者の決定を行います。これについては、3月28日（土）から3月31日（火）までの間に本人あて直接連絡（電話等）をしますので、8頁の「11 合格者の発表」で不合格となった者は所在を明らかにしておいてください。
- (2) この場合の入学手続期間は、本学の指定する日までとします。
なお、入学手続に関しては9頁の「13 入学手続・入学料等」に準じますが、詳細は合格通知の際に連絡します。
- (3) 追加合格の入学手続期間終了後において、入学定員に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。（詳しくは、次頁の「入試情報の提供」を参照してください。）

16 障害のある者等の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある者等で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、令和2年1月14日（火）までに、あらかじめ本学に電話で相談してください。

17 その他

- (1) 入学者選抜に関し、不正な行為又は虚偽の事実があった場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 出願書類は返却しません。
- (3) 試験当日は、必ず本学発行の受験票及び大学入試センター試験受験票を持参してください。
- (4) 受験についての詳細は、出願書類を提出した者に送付する「受験者心得」を参照してください。
- (5) 集合時刻に30分を超えて遅刻した者は、その科目等の受験は認めません。
- (6) 保護者等の入構は、限られた場所（保護者等控室【学生食堂・ギャラリー】）のみ認めます。特に、実技検査場付近での見学は、試験に支障をきたす恐れがありますので、保護者等控室で待機ください。
- (7) 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき、個人情報（出願書類への記載内容及び試験成績）については、入学者選抜に係る業務（追跡調査を含む。）及び修学指導に使用します。
また、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にとっては、選考資料として使用します。
- (8) 学生募集要項に関し、不明な点や質問がある場合は、下記の問い合わせ先に照会してください。
なお、電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

◆問い合わせ先：〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学 教務課入試係
TEL 0994-46-4869 FAX 0994-46-2515

◆入試情報の提供

本学公式ホームページ (<https://www.nifs-k.ac.jp/>) 上で、入試情報等を提供しています。

① 出願状況に関する情報

【実施期間】 令和2年1月27日（月）～2月5日（水）

【情報内容】 各募集単位の志願者数及び倍率

【情報の更新】 情報は、毎日17時頃更新します。

ただし、土曜日、日曜日は更新しません。

② 合格に関する情報

【実施期間】 令和2年3月6日（金）10時以降～3月10日（火）

【情報内容】 合格者の受験番号

③ 追加合格に関する情報

【実施期間】 令和2年3月28日（土）～3月31日（火）

【情報内容】 追加合格者の受験番号

④ 欠員補充第2次募集に関する情報

【掲載期間】 令和2年3月28日（土）以降の本学が定める期間

【情報内容】 欠員補充第2次募集に関する情報

なお、②、③については、ホームページ上で、「合格者受験番号一覧表」を掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

また、③、④については、実施する場合のみ情報の提供を行います。

◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法

本人に開示する入試情報は、試験成績（得点・評価）と調査書で、開示内容は以下のとおりです。

開示項目	開 示 内 容
試験成績 （得点・評価）	大学入試センター試験利用教科・科目ごとの得点〔200点配点以外の科目にあっては、200点換算〕及び実技検査の得点。 面接は5段階で評価。
調査書	成績評価・出欠の記録、クラブ活動等の特別活動の記録。 （「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄の記載を除く。）

申込期間：令和2年5月1日から6月30日まで（土曜・日曜・国民の祝日（振替休日を含む）を除く。）

申込方法：受験者本人が来学の上、申し込んでください。

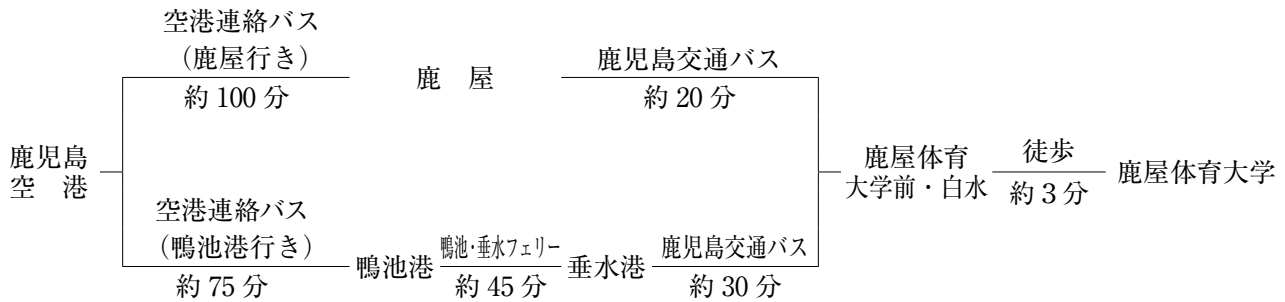
なお、その際に受験票又は身分を証明できるものと返信用封筒（受験者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、404円切手を貼付したもの）を持参してください。

また、来学することが困難な者で、本人である確認が取れた受験者については、郵送等による申込みを受け付けます。

※郵便料金の変更があった場合は、変更後の料金を適用します。

◆本学までの主な交通経路

1 空の便



鹿児島空港からの経路

- ① 鹿児島空港から鹿屋市街地まで空港連絡バス（「鹿屋・東笠之原」行きの1系統のみ）が運行していますので，乗車し，「鹿屋」で下車してください。【所要時間 約100分】

「鹿屋」からは「垂水」，「垂水港」又は「中央病院」行きのバスに乗り「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約20分】

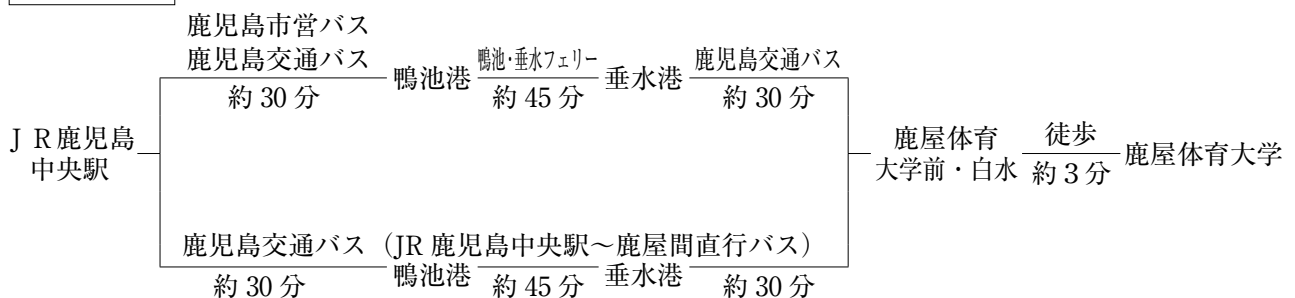
- ② 鹿児島空港から鹿児島市内行きの空港連絡バスが出ていますが，乗車前に行き先が「鴨池港」行きであることを確認の上乗車し，終点の「鴨池港」で下車してください。【所要時間 約75分】

下車した所が鹿児島交通株式会社のフェリー（鴨池・垂水フェリー）発着所となっていますので，そこから「垂水港」行きフェリーに乗船してください。【所要時間 約45分】

垂水港からは鹿児島交通バスが接続していますので，「志布志」又は「東笠之原」行きに乗車し，「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約30分】

なお，タクシーを利用した場合，垂水港から本学までの所要時間は約30分です。

2 陸の便



J R鹿児島中央駅からの経路

- ① J R鹿児島中央駅前から鹿児島市営バス又は鹿児島交通バスの「鴨池港」行きに乗車し，終点の「鴨池港」で下車してください。【所要時間 約30分】

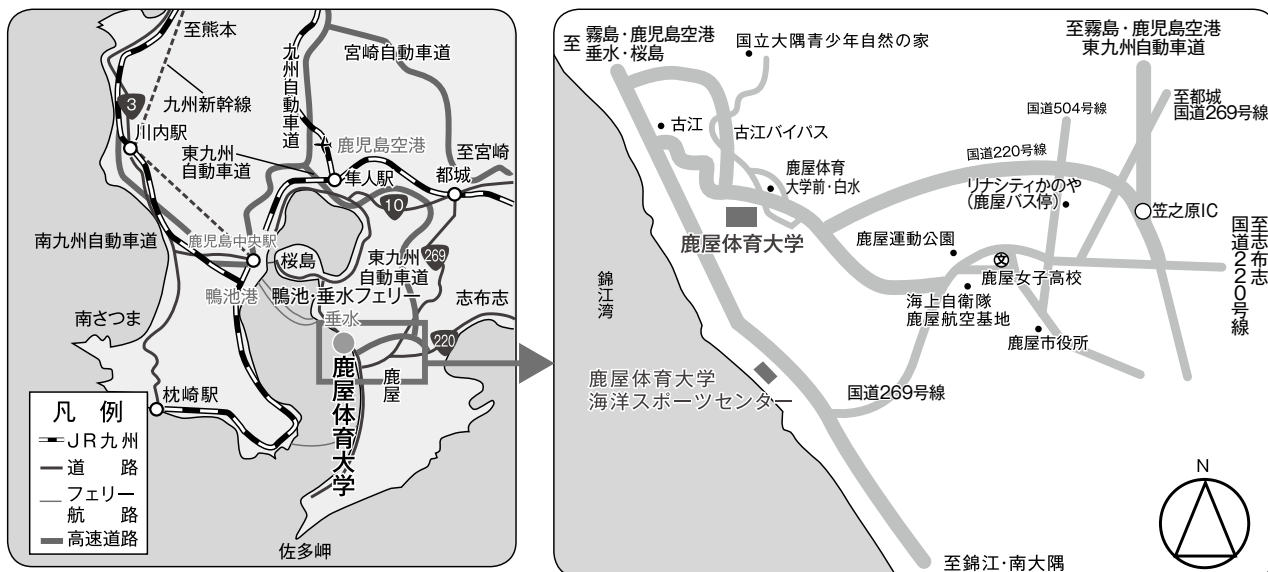
タクシーを利用した場合，J R鹿児島中央駅から鴨池港までの所要時間は約20分です。

なお，鴨池港（フェリー発着所）から本学までの経路は，「鹿児島空港からの経路」の②と同じです。

- ② J R鹿児島中央駅前から鹿児島交通のJ R鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスに乗車し，「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約105分】

（注）交通経路によっては，便数が限られていますので，バス等の運行状況（時刻表等）を事前に確認してください。

◆鹿屋体育大学位置図



◆受験の際の宿泊施設について

受験のための宿泊施設の斡旋は本学では行いませんが、「受験者心得」に、鹿屋市内の宿泊施設一覧表を同封しますので参照してください。

なお、「受験者心得」送付前に宿泊申込等を希望される場合は、下記に問い合わせてください。

問い合わせ先 〒893-0006 鹿児島県鹿屋市向江町22-1
鹿屋市ホテル旅館組合（ニューワールドホテル）
TEL 0994-44-7000

◆タブレット必携化について

本学では、情報活用能力の育成と情報通信技術を活用した実践的指導力を養成するために、タブレットを用いた教育や学習支援を実施しております。

なお、準備いただくタブレットの仕様等の詳細については、合格通知書に同封する入学手続書類をご確認ください。

◆入学検定料の払込取扱票等の記入方法

(注) 入学検定料の払込みは、令和2年1月20日(月)以降に郵便局の窓口で払込んでください。
ATMからの払込みはしないでください。

払込みが済んだら、この部分を本学所定の
台紙に貼付し、提出してください。

各自保管

払 込 取 扱 票									
00 福岡		払 込 取 扱 票							
口座記号番号		0 1 7 4 0 - 4 5 2 7 2 8							
加入者名		国立大学法人 鹿屋体育大学							
金額		千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 1 7 0 0 0							
ご依頼人・通信欄		○志願課程 体育学部 (スポーツ総合・武道) 課程 該当する課程を○で囲んでください。 おところ おなまえ (フリガナ) 電話番号							
日 附 印		日 附 印							
振替払込請求書兼受領証		振替払込受付証明書 (お客さま用) (ご依頼人→郵便局・ゆうちょ銀行→ご依頼人)							
口座記号番号		0 1 7 4 0 - 4 5 2 7 2 8							
加入者名		国立大学法人 鹿屋体育大学							
金額		千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 1 7 0 0 0							
ご依頼人		おなまえ (フリガナ) おところ 電話番号							
日 附 印		日 附 印							
料 金		円							
備考		(承認番号福証第10288号)							
備考		(承認番号福証第933号)							

志願者の住所、氏名、電話番号等を記入してください。

志願者の氏名を記入してください。

志願者の志願課程、住所及び氏名を
記入してください。

令和2年度
鹿屋体育大学一般入試入学願書

記入しないこと。

選択する実技検査の申告種目を記入すること。

入学願書を記入した日現在の年齢を記入すること。

該當する箇所を○で囲むこと。

令和2年度大学入学共通テスト試験の志願票に記入した「高等学校コード」を記入すること。

選択する種目名と該当するコードを記入すること。

申告種目	陸上競技	器械運動	水泳	バスケットボール	サッカー	テニス	ハレーボール
コード	01	02	03	04	05	07	08
申告種目	ヨット	ボート	ボートセーリング	カヌー	柔道	剣道	運動能力検査
コード	09	10	11	12	21	22	30

陸上競技、器械運動及び水泳を選択する者は、具体的な受験種目と該当するコードを記入すること。なお、受験しない種目欄には記入しないこと。

○陸上競技

内 容	100m	400m	800m	3000m	1000mH	110mH	走高跳
コード	11	14	21	24	31	34	41
内 容	走幅跳	三段跳	棒高跳	円盤投	砲丸投	槍投	ハンマー投
コード	44	47	50	71	74	77	80

○器械運動（2種目を必ず選択すること。）

内 容	マット	マット	マット	跳び箱
	跳び箱	鉄棒	平均台	平均台
コード	71	73	77	79

○水泳

内 容	自由形	平泳ぎ	背泳ぎ	バタフライ	個人メドレー
コード	11	16	21	26	31

令和2年度鹿屋体育大学推薦入試を受験した者は「有」，
受験しなかった者は「無」を記入すること。

*は記入しないでください。

志願課程	スポーツ総合	課程	実技検査種目名 器械運動	受験番号	※
------	--------	----	-----------------	------	---

氏名	鹿屋花子																													
氏名	カ	ノ	ヤ	ハ	ナ	コ																								
カタカナ姓名（姓との間は、1コマをあけ、濁点及び漢字は1コマとする。）																														
漢 名 出 人（お名前でご記入ください。）																														
<table border="1"> <tr> <td>生</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>号</td> <td>年</td> <td>月</td> </tr> <tr> <td>（西暦）</td> <td>（西暦）</td> <td>（西暦）</td> <td>（西暦）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>04</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </table>											生	年	月	日	年	号	年	月	（西暦）	（西暦）	（西暦）	（西暦）		1	3	04		1	5	
生	年	月	日																											
年	号	年	月																											
（西暦）	（西暦）	（西暦）	（西暦）																											
	1	3	04																											
	1	5																												
<table border="1"> <tr> <td>性 別</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>男</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>女</td> </tr> </table>											性 別	性 別	男	男	女	女														
性 別	性 別																													
男	男																													
女	女																													
<table border="1"> <tr> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </table>											年 齢	年 齢	18	18																
年 齢	年 齢																													
18	18																													

出願資格	課程	学科	卒業時の年月日
	1 全日制 2 定時制 3 通信制	普通科 01	年 月 日 令和2年03月31日

高等学校卒業者以外	1 4月1日の卒業生	2 本校卒業生	3 専修学校卒業生	4 通信制2年卒業生	5 高等学校卒業生	6 その他（通学等）の候補者
-----------	------------	---------	-----------	------------	-----------	----------------

出身学校	所在地	設置	学校名
鹿児島県立	鹿児島市立	高等学校	平成高等学校
電話番号	0994		(46) 1111

志	郵便番号	(都道府県名)	鹿屋市	(郡・市名)	鹿屋市	(方)
頭	891-2311	(区・町村名)	鹿屋島県	(市・町・丁目・番地・地・棟・号)	鹿屋島県	00
名	白水町		1-2		00	寮
名	電話番号		080 (1234) 5678	(携帯)・自宅・呼出 (方)		
綴	メールアドレス		nyashik@nifs-k.ac.jp			
緊	氏名	(都道府県名)	鹿屋大郎	(郡・市名)	鹿屋大郎	
急	郵便番号	(区・町村名)	991-0123	(市・町・丁目・番地・地・棟・号)	鹿屋島県	
連	1-2-3		印本町		1-2-3	
絡	電話番号		099 (212) 3456	(携帯)・自宅・呼出 (方)		
先						

前

令和2センター試験成績表請
求票国公立満期日程用を貼
付すること。

実技検査の 申告項目	器械運動	0	2	
陸上競技の 内容	器械運動の 内容	フット ボール	7	1
水泳の 内容				

[illegible]

推薦の有無	有	この調査は、書類の整理上記載を求めるもので、合否判定には一切関係ありません。
試験の有無	有	

— 本学からの連絡の際に使用 —

また、電話番号は、なるべく昼間でも連絡のとれるものを記入すること。

なお、出願後に連絡先に変更が生じた場合は、すみやかに本学教務課入試係へその旨連絡すること。

志願者連絡先と異なる場合は必ず記入すること。

大学入試センターから送付された「令和2センター試験成績請求票（簡国公立前期日程用）を貼付すること。

受験したすべての教科・科目に○をつけること。

「国語・数学」の中から1科目以上
「地歴・公民・理科」の中から1科目以上
「外国語」の中から1科目

なお、上記科目を受験していない場合は、
出願無資格者となるので、注意すること。

